

第4回（平成25年度第3回）瑞穂市廃棄物減量等推進審議会 議事録

1. 開催場所 瑞穂市役所巢南庁舎 大会議室
2. 開催日時 平成25年11月21日（木） 午後1時30分～午後3時00分
3. 出席委員 平田芳子（会長）、野田寧宏（副会長）、関谷翠、江間安男、片岡義典、清水一夫、恩田直樹 7名
4. 欠席委員 長尾マツ子、吉田愛子、眞鍋敏克、松波説夫、廣江重昭 5名
(敬称略・順不同)
5. 事務局 鹿野政和（環境水道部部長）、伊藤巧（環境課課長）、佐藤彰道（環境課総括課長補佐）
6. その他出席者 一般廃棄物処理基本計画策定業務委託受託コンサルタント（一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター）蒲池謙治、豊田崇文
7. 傍聴者数 0名
8. 議題等
 - (1) 会長あいさつ
 - (2) 審議
 - ① 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の（素案）について
 - ② 消費税率引き上げに伴うごみ処理手数料について
 - ③ その他

9. 会議の要旨

平田会長	会長あいさつ。 審議（1）計画書素案について、事務局に説明を求める。
【事務局	審議（1）について説明を行う。】
平田会長	26ページのリサイクル率を20%以上と、1人1日あたりごみ排出量の21%削減、24%削減して目標値になった根拠をもう少し説明してもらいたい。 目標値のリサイクル率20%はちょっと少ないと思う。平成21年度からリサイクル率が下がってきているこの根拠はなにか。
コンサルタント豊田	リサイクル率が下がってきている一番大きな理由は集団回収量の減少です。PTAや子ども会の資源回収が大きく減少しています。大きな要因としてはスーパー等にある古紙の回収ステーションへ持ち込む方が増え、瑞穂市が把握できない資源の流れ、古紙業者に流れているので、表面的には減っていることとなります。

平田会長	<p>なにか説明がないと、リサイクル率の推移からとかでは整合性がとれない。集団回収を除いた率は出せるのか。</p>
コンサルタント豊田	<p>出すことはできますが、瑞穂市が集めている資源の量も平成 21 年 1,500 トンから平成 24 年は 1,000 トンに下がっています。市民のリサイクルの意識を高めることのひとつとして集団回収の量を増やすのが国の方針としてあるため、リサイクル率の計算に集団回収量を含めることになっています。</p> <p>今の社会的な情勢の中で民間がお金になるごみは民間が事業として集めるという流れになってきています。</p>
平田会長	<p>そうすると、民間事業者が集めた資源の量を市が把握するのが難しく、リサイクル率が低下してしまう。</p>
コンサルタント豊田	<p>様々な自治体で同様の悩みを抱えており、瑞穂市では算出できませんが、他の先進的な市町村では燃えるごみの中身を調査して、その中の資源混入率を下げるという目標を立てる場合もあります。しかし、これを行うには毎年ごみの開封調査をしないと算出できないので、統計的な数値しか持っていない 5 万人規模程度の市町村だと難しいと考えます。</p>
平田会長	<p>巢南は資源化率が高かったなのでその差を埋めることによってリサイクル率が上がるという、なにか他に算定基準があるように思う。</p>
コンサルタント豊田	<p>予測の中には旧穂積地区で新たに集められる前提でプラスチック系のごみの量も資源としてリサイクル率に含んでいます。このため、現状よりも予測のほうが若干リサイクル率は上がっています。</p>
平田会長	<p>大きな要因としては集団回収で集められていた古紙類が、今は民間の資源回収に集まっている。これは流れとしていいことだけど、統計的にはその数値が入らないとリサイクル率が上がらない。素人の考えではわかりにくい。</p>
野田副会長	<p>子ども会が集めている古紙も倉庫に入らない、満杯になったら民間の業者が新聞等の回収に来る。1 ヶ月に 1 度の量は 2 トン車が山積みになる。現在穂積区域には 56 戸の 4 階建て以上のマンションがあるがほとんど毎日岐阜市の業者が回収に来ている。子ども会の置き場があればまだたまる。これから資源回収をリサイクルの中に入れていくか今からの問題である。</p>
平田会長	<p>美来の森の資源持込、ストックヤードのように強化していくという、2 年経っていて検討するとなっている。持ち込む場所が増えれば</p>

	もっとそれがさばけていくということ。PTAの集団回収に頼っているとリサイクル率は上がってこない。市の収集に集団回収で集めている古紙もプラスするようにするとか。岐阜市は自治会で集団回収を実施していないか。
事務局佐藤	美来の森でも平成21年頃から、14時から16時と時間は決まっているが毎日持ち込めるようになった。一時は増えたが、スーパー等の古紙の回収をしているのでそちらに流れている。古紙の値段も上がっている。
平田会長	リサイクル率の表とか目標の数値とかすっきりしない。
野田副会長	30ページの棒グラフの集団回収の色を赤にして目立つようにして、26ページのリサイクル率の言葉が読みやすくなると思う。ちょっと工夫してもらおうとよい。
平田会長	20何年これから先は集団回収を増やさないと言うことですね。
事務局佐藤	そうですね。増えることはない。
野田副会長	1,000トンが限度
平田会長	集団回収だけに頼るのではなくて違うことで回収するというのが入ってくればいい。集団回収＝PTA回収である。
野田副会長	市議会に出ていて集団回収のコストが高すぎる、それをどう抑えるのかが議会でも質問があった。
平田会長	本当はもっと他のものでリサイクル率を上げて市民の意識をかえていくのがメインである。古紙の部分がウエイトを占めていると市民の意識改革や施策に結びつかない。
事務局佐藤	金属も有価の部分に含まれている。粗大ごみのときは量が多かったが資源になる金属も多かった。金属の量も減ってきた、比例して資源も減ってきたからこの棒グラフが減ってきた一因でもある。紙だけのことではない。ごみが減ったことに比例して資源も減ってきたということもある。
平田会長	プラスチックは収集される容量は多いが重さだと軽い。だから多くてもリサイクル率が上がらない。紙や金属にウエイトがいく。
野田副会長	中央清掃さんで作っているステーションでは古紙の回収はやらないのか。
恩田委員	やります。生津に来年の1月から着工して4月にはたぶん完成する予定です。
平田会長	それは市のリサイクル率には入らないのですか。
事務局佐藤	数字だけ教えていただければ加算できます。
野田副会長	1,000トンはまちがいなくある。実感します。

江間委員	<p>今は民間業者が玄関先まで来て古紙や金属を持っていってくれるから、そこへ出しますよ。集団回収や美来の森へは持ち込まないけれど、リサイクルの意識はあるから民間業者に出す。</p> <p>数字の捉え方をどう把握するかである。社会の流れであるから、民間へ流れた量をどう把握するかは非常にむずかしい。</p> <p>民間業者も資源の価格が下がると回収しなくなるから、不安定でもある。</p>
平田会長	<p>市で把握できない部分がありデータの変わった感じになっている。どこかに数値の下にコメントをつけるとどうか。</p>
江間委員	<p>PTA が行う集団回収の回数を増やすことも、PTA の負担を考えると現実的ではない。</p>
平田会長	<p>ストックヤードの場所を増やせばついでに持っていってくれるのでは。</p>
江間委員	<p>ステーションで集めてもらえれば出しに行く。</p>
恩田委員	<p>古紙をステーションに出されると放火の危険性があるので難しいが、拠点を設置すれば集めることもできる。</p>
平田会長	<p>今までの便利すぎたのだけど、穂積地区は回数が減っている。月4回から2回になる。減った2回をステーション回収してもらえると助かる。</p> <p>減った回数を他の部分でやってもらいたい。住民も納得する。</p>
事務局佐藤	<p>菓南は古紙の回収は可能だと思うが、穂積はルートが4つに分かれているので難しい。</p>
恩田委員	<p>古紙だけであっても収集回数を増やして回るのは難しいです。</p>
平田会長	<p>コミュニティセンターに日にち指定で出したのを回収することは。</p>
恩田委員	<p>コミュニティセンターや公民館の拠点回収なら可能です。</p>
平田会長	<p>減った1回分日にちを決めて公民館にでも集めてもらえるとずいぶん違う。</p> <p>今のこの表を見ていると集団回収も増やしていかない、民間もやっているここでリサイクル率を上げようと思うと、あいまいな数字になると思う。自信がないから。</p>
事務局佐藤	<p>リサイクル率の部分で26 ページの文章としては説明が入っている。金属類や古紙類の民間回収率の拡大や注釈はつけてある。他の計画を策定する自治体の中にはリサイクル率自体が社会の流れで業者回収が増え、リサイクル率を標記すること自体が困難になってきたということもあり、計画の中にリサイクル率を載せないところ</p>

	もあるとのこと。そのことを念頭においていただくと、この「20%以上を維持します」の表現も納得せざるを得ない。
平田会長	目標なのでもう少し高く掲げないといけない。リサイクルを目標に掲げている以上20%は低すぎる。やる気が無いように見える。
事務局佐藤	具体的な数字で何%を目指しますとしたほうがいいですか。
江間委員	第一次の24%再度挑戦しますとするのもいいと思う。
平田会長	リサイクル率の目標値は24%でいいですか。
平田会長	文章の中ではわかりにくいのでこの部分をピックアップして下に注意で書くとよい。
野田副会長	30ページのグラフを赤にして緑では協調性がない。1,000トンはまちがいなく増えてくる。
平田会長	中央清掃さんの拠点ステーション回収を入れれば増えてくる。
事務局鹿野	前計画の目標値は35年度の目標値が30%であり、第1次期間の目標値が24%であった。今回の目標値は平成35年度が24%で良いか。
平田会長	30年度で24%、35年度で30%という目標でどうか。
全委員	了承。
平田会長	いままで週3回で便利であったが減ってしまっていて住民サービスが低下するようなイメージに捉えられかねないので、ちょっとずつこのようなこともやりますと言ったほうが住民に対しては良い。
野田副会長	28ページの人口の将来予測ですが、来年の3月までに70世帯が新築中です。140人位は増えると予測しています。都市計画と現状を照らし合わせてもっと増やしていったほうがいいと思います。
事務局佐藤	その件に関してですが27ページで人口の将来予測の手法などについて説明が記載してあります。
平田会長	瑞穂市の人口動態でとった数値はないのか？
事務局鹿野	上位計画の総合計画で推計していますので、計画ごとに瑞穂市がいろいろな将来人口を使うことは好ましくない。
平田会長	人口の将来予測は総合計画の数値と同じですか。
コンサルタント豊田	10以下の単位で異なりますがほぼ同じです。総合計画は計画年度である平成27年度までしかないので、その先の予測はありません。このため、総合計画の推計値とほぼ等しい人口問題研究所の推計値を採用しています。 上位計画と現状及びその他の予測が近い場合は上位計画の値を採用するのが一般的です。
平田会長	総合計画と整合性だけはとってもらおうということで、現実はどう

	少し増えてきている。
関谷委員	住民がどんなように感じているか心配でした。
平田会長	高齢者の対応も盛り込まれています。これも議会から出てきた話です。持ち込みだけでなく高齢者の方の集め方、持込も今後検討するのはなかなか良い意見が入っている。
片岡委員	平和堂でも8月ごろから資源の回収をしています。1キロ1ポイント、500ポイントで500円の商品券と交換できるシステムです。徐々に回収は増えてきている。車のある人には便利です。
平田会長	事業者さんの回収も積極的に進んでいるということなどどこかにわかるように入れてもらうとよい。トン数もわかるといい。
片岡委員	トン数は1ヶ月ごとに報告がきます。
平田会長	その分を環境課にも数字だけでも報告してもらうといいと思う。平和堂だけでなく他の事業者の集めた数値を把握する方法を検討すると良いと思う。
江間委員	よくできていると思う。ただリサイクル率を上げる手立てで取り組みNo.13の子ども会、PTAや自治会などによる集団回収を促進しますとあるが具体的にどうやっていくのか難しいのではないかと思います。
事務局鹿野	その件はその他の議題で意見を頂きたいと考えています。
恩田委員	35ページで粗大ごみですが昨年度から木くずと廃プラの6割を県内処理という形でうちの業者でやっています。美来の森でコンテナを25台入れて分別、保管、運搬をやっている。今後施設の計画があるならばその作業ができないので市長のほうに要望書を持っていきました。結果、現状通りやらせてもらうということになりました。
平田会長	外に持っていく量はどこで処理するのか。
恩田委員	海津市で処理して西濃環境に持って行きます。
平田会長	県内で循環したほうがいいですね。
野田副会長	二酸化炭素の削減について、今回の計画では入らなくても次回の見直しには検討が入ると良いと思う。
平田会長	基本計画はわかりやすくまとまっているという皆さんの感想だと思います。計画の目玉はリサイクルの意識、環境を増やしていく、リサイクルを進めていくということが大きなメインであるためそこをもう少しつめて訂正していただくといいと思う。直してからパブリックコメントということになります。直した部分は会長と事務局で調整して最終の案としてパブリックコメントの原稿にしてい

	<p>きたいと思います。 審議 2 について説明を求める。</p>
<p>【事務局 審議 2 について説明を行う。】</p> <p>事務局案としては今回の消費税 8%増税による値上げは行わず、10%に増税された時に再度検討することとしたい。</p>	
平田会長	今の 1,000 円はいつからか、長いですね。
事務局鹿野	3%のときから変わっていない。
恩田委員	それ以前から変わっていない。
事務局佐藤	環境省からは、消費税が上がるのでごみ処理手数料に関しても適正に処理する旨の通知がありました。
関谷委員	現状維持でいきたいです。
野田副会長	郡上か高山で 40 リットルが 58 円で問題になり 50 円に値下げ、岐阜県の統一価格があるみたいです。
コンサルタント豊田	統一価格はないはずです。ごみ袋の作成費用は公表しても問題はないと思います。処理にかかる費用を上乗せしているから高くなります。
野田副会長	10%になってから検討するというのでいいと思います。
平田会長	1,000 円 1 袋あたり 50 円は岐阜県の自治体の中では高いほうではないですか。
コンサルタント豊田	50 円くらいが平均的な価格です。一般的に一袋処理するのに 400 円から 500 円くらいかかるのでその内の 1 割程度 50 円を負担してもらおうということです。45L のごみ 1 袋が高いところで 200 円というところもあります。10 円以下というところもあります。
江間委員	処理に対する応分の負担はすべきだと思うので、やはり 10%に上がったときは検討するのが良いと思う。
平田会長	事務局の原案どおり消費税を 10%に引き上げられた時に検討する。 その他について事務局に説明を求める。
<p>【事務局 その他「資源類集団分別回収奨励金」について説明を行う。】</p>	
平田会長	集団回収の奨励金についての意見を求める。金額を上げたらどうかと提案があったが、実施団体である PTA 等の意向の確認はしているのか。
事務局佐藤	特に意向を確認していません。団体から奨励金を増額してほしいとの要望もありません。
野田副会長	本巣市が高いから瑞穂市も同金額にしたらどうかという提案が議会で行われたと聞いています。

平田会長	集団回収を行っている団体はどこがあるか。
事務局佐藤	現在の交付対象団体は子ども会と PTA だけです。
平田会長	<p>PTA からは手間がかかるわりにはメリットがないので積極的に実施したくないとの意見もある。PTA の意見を聞いたほうがいい。PTA 会長会などを通して意見を聞いてください。</p> <p>審議会の意見としては今のまま続けるのであれば 5 円でいい、今の PTA と子ども会しか交付団体がないならそちらの意向も確認をしてこの奨励金制度を継続することについても検討する時期に来ている。</p> <p>事務連絡について事務局に説明を求める。</p>
<p>【事務局 今後のスケジュールについて説明を行う。】</p> <p>素案を修正し、11 月 27 日から 12 月 26 日を予定しパブリックコメントを実施します。また、あわせてごみ減量に関するアイデアと日頃実践していることについても募集を行います。</p> <p>次回審議会は 1 月下旬から 2 月上旬を予定しており、最終案の確認と答申原案をご確認頂きます。</p>	
平田会長	<p>次回審議会は 2 月上旬に開催します。</p> <p>閉会を宣する。</p>